

# 令和 6 年度 企業版ふるさと納税活用事業 実施報告

人に恋する、地域を愛するプロジェクト

真庭市役所 総合政策部 総合政策課



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
**GOALS**

# 持続可能な未来杜市推進事業

CENTRAL  
GARDEN  
MANIWA  
真庭市

## 令和6年度 真庭SDGs円卓会議

- 日 時 令和7年2月8日（土）13:30～16:30
- 場 所 エスパスホール（真庭市鍋屋17-1）  
会場約100名  
YouTube視聴者数（当日再生回数）151回  
MIT生放送多数
- テー マ 「多様性を生かす社会をつくる行動」
- 内 容
  - ・基調講演 慶應義塾大学 川久保准教授
  - ・取組発表（真庭高等学校、株式会社フィノバレー、真庭商工会 女性部）
  - ・円卓会議（ディスカッション）  
グラフィックレコード（視覚記録）による総括
  - ・SDGsパネル展示  
SDGsパートナー、市内高校、連携中枢都市など



## ■ 開催結果概要（グラフィックレコード（視覚記録）による総括）

The collage features numerous speech bubbles containing handwritten text in Japanese, representing various perspectives and topics discussed at the meeting. Key themes include:

- Social issues: SNS bias, gender stereotypes, and their impact on society.
- Education: Differences in education and opportunities between genders.
- Healthcare: Gender differences in health issues like heart disease and mental health.
- Workplace: Gender pay gaps and work-life balance.
- Community: Local issues in Shiono City, such as elderly care and gender roles in agriculture.
- Future: Vision for a more inclusive future where everyone can contribute regardless of gender.

At the bottom, there are illustrations of participants holding flags representing different sectors: Education, High School, Secondary School, Government, Agriculture, City, Facilitator, Citizen, Business, Forestry, and Chamber of Commerce.

## ■ その他

- ・山陽新聞にて特集記事掲載  
(令和7年3月23日)

- ## ・YouTube動画 配信

This image is a collage of various news snippets from the March 23, 2025 issue of the Sanuki Shimbun. It includes large headlines, smaller articles, and illustrations related to sustainable development goals (SDGs), local government actions, and community events. The snippets are arranged in a grid-like fashion across the page.

# キヤッシュレス・市民ポイント推進事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭



## 「まにこいん」普及のための取組

MANIWA 市

行政・金融・商工会等地域の多様な主体とともに、デジタル地域通貨「まにこいん」を活用し、①地域内経済循環の強化・経済圏確立(経済的価値の創造)、②健康増進・共助推進・行政サービス提供等スーパーAPL化による市民のウェルビーイング・効率的な行政経営の実現(非経済的な価値の創造)を目指すものです。

### ■令和6年度運用実績

ユーザー数 : 24,783 +3,823 / 年 加盟店数 : 251 +22 / 年  
総流通量 : 397,416千円 +262,490千円 / 年 加盟店売上 : 387,528千円 +210,535千円 / 年

※R7年度目標20,000ユーザーを大きく突破し、人口比6割超に到達

### 【主な事業】

#### ■地方税統一QR(eL-QR)対応税目追加

・固定資産税、軽自動車税、自動車税種別割に加えて住民税・国民健康保険税に対応

#### ■チャージポイントの拡充

・ローソン銀行ATMでチャージ可能（地域通貨全国初対応）

#### ■キャンペーン等普及推進事業の実施

・チャージキャンペーン 期間中総チャージ額 34,943千円

・暮らし応援・事業者応援キャンペーン 発行ポイント数3,236千Pt

・森の芸術祭&暮らし・事業者応援キャンペーン 発行ポイント数2,977千Pt

・まにあぶりリースキャンペーン（継続中）

#### ■スーパーAPL「まにあぶり」の実装

・ポータル機能を備えたスーパーAPLの実装（1/27リリース）

#### ■市民サポート体制の構築

1.郵便局での拠点サポート 市内21局 計136件

2.高齢者向けスマート教室等開催 MIT 計17回 シルバー人材センター 計14回

#### ■現地決済型ふるさと納税機能の実装

・交流人口や外資獲得のため、返礼品をまにいポイントとした現地決済型ふるさと納税機能実装（3/31リリース）

「まにこいん」は地域をつなぐ  
市民参加型のスーパーAPLへ！



# 真庭市観光戦略推進事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 企業版ふるさと納税（人材派遣型）を活用した人事交流

企業版ふるさと納税（人材派遣型）

【派遣元企業】  
**両備ホールディングス株式会社**

人事交流

岡山県真庭市

地域の稼ぐ力を引き出し「回る経済」を実現するため、観光振興に専門的知識とノウハウを有する企業の人材を受け入れ

派遣

一般社団法人 真庭観光局  
(観光地域づくり法人 (DMO) )

### 【人脈・ノウハウの活用】

- 滞在型旅行商品の開発
- 販売ルート支援
- コロナ禍における新たな観光振興政策の企画

### 【人事交流の成果】

- 新たな観光コンテンツの創出
- 地域資源を活用した地域が稼げる看板商品を創出
- 地域事業者と連携した新規旅行獲得のための事業創出
- 広域的なつながりと人材育成に寄与

R6.10.21地域観光新発見事業  
観光コンテンツ造成モニターツアー



発酵ツーリズム  
@河野酢味噌製造工場



発酵ツーリズム  
@ひるぜんワイナリー

R7.2.22-24  
台湾プロモーション・営業活動



岡山フェアin高雄  
@高雄市内



旅行会社営業活動  
@台北市内

# 広域公共交通対策事業

CENTRAL  
GARDEN

## 事業概要

市域を超えた広域公共交通であるJR姫新線やバス路線の確保維持と地域の振興につなげるため、市民に対する危機感や利用意識の醸成を目的として、事業を実施するものです。

### 【主な事業】

#### ①利用促進イベント 駅周辺の賑わいと鉄道に乗る機会を創出するためのイベントの実施

##### 〈まに鉄フェスタ 津山-中国勝山間開業100周年記念〉

JR姫新線の津山-中国勝山間開業100周年にあわせて、記念式典や記念臨時列車の運行、美作落合駅、久世駅、中国勝山駅の駅舎や駅周辺を主会場にエコマルシェを開催しました。



津山-中国勝山間開業100周年記念式典



記念臨時列車



中国勝山駅 シン・駅舎空間



#### ②シン・駅舎空間創造プロジェクト

中国勝山駅の駅舎空間をひとが集う場所として魅力化を図り未来に繋げることを目的とした令和5年度からの継続プロジェクト。

県立勝山高校生、建築家等とBeLIN(「ビリン」真庭産無垢材プロダクト)を活用した協働事業です。

#### ③JR西日本株式の取得

地方鉄道をネットワークとして守るために株式を取得。株主として責任を負うことでJR西日本との関係を深め姫新線の存続や利便性向上の取り組みを強く推進



#### ④乗車券、地域主催利用促進イベント助成

団体や社会学習に乗車券の購入費や地域イベント支援の助成

# 生ごみ資源化地域産業事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭

MANIWA 市

## 事業概要

生ごみ資源化地域産業事業は、生ごみを分別収集し、生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を液肥製造モデルプラントでメタン発酵し、消化液をバイオ液肥として地域農業に活用していました。令和7年1月より本格プラント「真庭市くらしの循環センター」が本格稼働し、今後は、本格プラントである真庭市くらしの循環センターを核として、地域産業と雇用の創出を目指すものです。

### 【主な事業】

#### ①一般廃棄物（生ごみ）収集運搬業務

液肥製造モデルプラントでバイオ液肥を製造するために、久世地区と落合地区の一部の生ごみを収集し、実証に利用していましたが、真庭市くらしの循環センターが本格稼働したことにより生ごみ収集を市内全域に拡大しました。

生ごみ収集を市内全域に拡大したことにより、今まで紙ベースで管理していたごみステーションを、電子システム化しインターネットで管理できるように整備しました。

○令和6年度生ごみ収集量：702 t

#### ②生ごみ等資源化施設実証施設移行業務

実証プラントから本格プラントである真庭市くらしの循環センターへスムーズに移行できるように、メタン発酵する上で欠かせない実証プラントの種汚泥を真庭市くらしの循環センターへ引継ぎました。



液肥製造モデルプラント



真庭市くらしの循環センター



生ごみ受入状況



バイオ液肥散布状況



バイオ液肥スタンド

# 各種がん検診事業

## 事業概要

肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がんに加え、市独自に胃がんABC検診(リスク検診)と前立腺がんの早期発見・早期治療を目的に実施しています。多くの市民に受診していただけけるよう、対象者に個別通知と地域で細やかな声かけによる受診勧奨を今後も継続的に行い、市民の生活習慣病予防と健康増進に向けたがん検診を実施していきます。

### <対象者>

- 肺がん検診：40歳以上
- 大腸がん検診：40歳以上
- 胃がん検診：40歳以上
- 子宮がん検診：20歳以上、女性

- 乳がん検診：40歳以上、女性
- 胃がんABC検診：40歳以上
- 前立腺がん検診：50歳以上、男性

がんを防ぐための新12か条  
あなたのライフスタイルをチェック!  
そして今日からチェック!!

- 1条：たばこは吸わない
- 2条：他のたばこの煙を避ける
- 3条：お酒はほどほど
- 4条：バランスのとれた食生活を
- 5条：塩辛い食品は控えめに
- 6条：野菜や果物は不足にならないように
- 7条：適度に運動
- 8条：適切な体重維持
- 9条：ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条：定期的ながん検診を
- 11条：身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
- 12条：正しいがん情報でがんを知ることから

真庭市 健康福祉部 健康推進課  
〒779-3292 開田郡真庭市久世2972-2  
TEL 086-42-1050 FAX 086-42-1368

OPEN

はがきで個別受診勧奨



胸部レントゲン検診



子宮頸がん・乳がん検診



# 健康サポート事業

CENTRAL GARDEN 真庭

## 【事業概要】

第2次真庭市食育・健康づくり計画、第3次真庭市総合計画に基づき、各種団体と連携のもと市民の健康づくりと幸せづくりに向け取組むものです。

(主な取組)

- ①まにこいんアプリ健康管理（ヘルスケア）機能利用促進
- ②まにこいん健（検）診ポイント付与
- ③健康づくりチャレンジ30日
- ④スポーツ・運動施設と連携した健康づくりイベント



### まにこいんアプリ健康管理（ヘルスケア）機能利用促進



・まにこいんアプリ健康管理機能登録者数 14,185人（対人口比34.95%） ※R6年度末時点

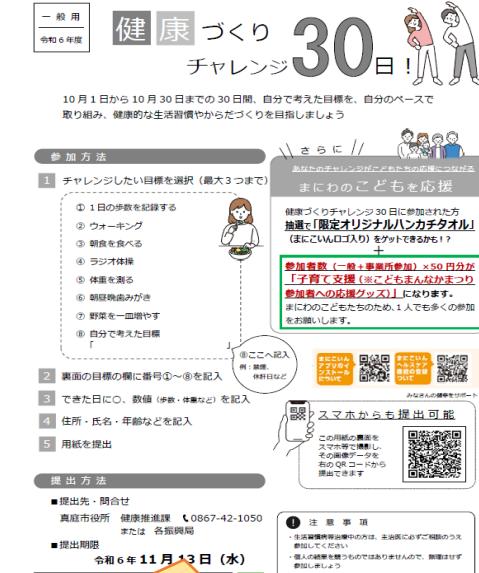
・参加チーム数130チーム（390人）  
・参加者の平均年齢47.1歳

### まにこいん健（検）診ポイント付与



・711人申請あり  
・R7から内容を拡充

### 健康づくりチャレンジ30日



・参加者数3,665人（市民の9.0%が参加）  
・幼児から高齢者まで参加

### スポーツ・運動施設と連携した健康づくりイベント



・働く世代の参加が多く、企業チームの参加も多数あり  
・23チーム（80人）が参加

# まにわ地域共創拠点整備事業

CENTRAL 真  
GARDEN 庭  
MANIWA 市

## 事業概要

### ■事業の目的

県立高校の再編整備に伴い閉校となる岡山県立真庭高校久世校地の利活用について「まちづくり」、「第一次産業の振興」及び「学びや子育て」などの拠点整備を目指しています。具体的には、産官学連携による「林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想」の推進により実現を目指す農林業等の地域産業の振興及び学びや子育てによるまちづくりの将来像を踏まえたエリア化を図ります。加えて、事業化にあたっては、民間のノウハウ・ご提案を最大限活用した公民連携事業とし、将来にわたって持続可能な新たなビジネスモデルの構築します。

### ■敷地概要・計画条件

敷地面積	71,729m <sup>2</sup>
用途地域等	第一種住居地域 容積率：200%、建蔽率60%
既存施設	校舎： 11,592 (m <sup>2</sup> ) 屋体： 1,919 (m <sup>2</sup> ) 付帯： 509 (m <sup>2</sup> ) 寄宿舎： 256 (m <sup>2</sup> ) 計： 14,276 (m <sup>2</sup> )

## 現状把握

### 市民アンケート

真庭市の20～30年後を見据えた未来づくりの拠点として久世校地の利活用することが重要となります。市民に愛される拠点とするために、早期に本事業を市民に広く周知し、意見を把握するため、市民アンケート調査を実施しました。

久世校地がどのような場所になることが望ましいか：市民・高校生ともに「誰もが気軽に訪れることができる拠点」の回答が50%を超えており、多くの人が集う場への活用が望まれています。

久世校地でどのような分野に力を入れてほしいか：「公共機能」(交流・活動の拠点)「教育・研究」「子育て」の回答が75%を超える高い関心がうかがえました。

### 市民ワークショップ

コンセプトに対する意見や、具体的な導入機能を確認するため、参加者を公募選定し、市民ワークショップを行いました。

各グループから農業のほか、子育てや教育・研究や、世代を超えて学ぶ・交流できる場に関するアクションプランが多数挙がりました。

分野	挙がったアクションプラン（抜粋）
農業	久世校地の農地や施設、校舎を利用して農業後継者の育成と農業支援センターを作り、地域の農業振興拠点とする
子育て	子育て世代が快適、安全、経済的に暮らせるZEH住宅(木造)をつくって子育て世代を集める
教育研究	真庭大学的な場として年齢関係なく学びあえる場とする 教育設備を活かして企業などの実験スペースとして活用
その他	久世校地で地域のエネルギーをまかない、エネルギー源の未来永続性（リサイクル等）を先端研究する場にもする

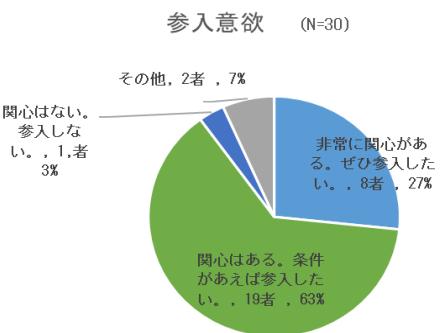
### 事業者ヒアリング

次の5つのゾーンについてその妥当性や現在の事業者が抱える課題、事業への参入意向を確認するとともに、新たな導入機能の可能性についても確認し、令和6年度の調査・検討に反映させるため、産官学の事業者および関係団体約30者を対象に、ヒアリング調査を実施しました。

No	ゾーニング名	対象団体名
1	林業・木材・木造建築教育研究ゾーン(11者)	岡山大学、清水建設、秋田県立大学木材高度加工研究所、岡山県森林研究所木材加工研究所、鉄建工業、建材試験センター西日本試験所、岡山県立大学、河崎技術士事務所、真庭森林組合、真庭木材事業協同組合、山下木材(株)
2	脱炭素・再生可能エネルギーの普及のためのゾーン(3者)	真庭市環境課、真庭市林業・バイオマス産業課、大和ハウス工業
3	未来の里山ゾーン(3者)	真庭商工会、(株)ティツー、eek(株)
4	農業の活性化や地域の魅力に触れるゾーン(7者)	(株)オール真庭、真庭農業普及指導センター、農事組合法人 寄江原、真庭市農業振興課、真庭あぐりガーデン、丹後王国ブルワリー、サンマルクイノベーションズ
5	全体(6者)	真庭観光局、NTT西日本、中国銀行、山本国際コンサルタント合同会社、オムロンソーシアルソリューションズ(株)、サイバーダイン(株)

「ぜひ参入したい」「条件があれば参入したい」と回答した事業者が90%を占め、総じて事業に対する関心の高さが確認できました。

「参入しない」と回答した事業者も、事業主体としてではなく、アドバイザーとして検討段階への関与などは可能との意見をいただいています。



# 久世校地の利活用方針

## コンセプト

基本目標  
(将来像)

### 『多彩な真庭の豊かな生活』

第2次真庭市総合計画

- 真庭市では、木材・木造建築に関する実地の知見・技術を集積し、教育・研究拠点を整備することで地域内経済循環を強化、少ない財源・人員でも行政サービスの質を確保できる環境の整備、高附加值化による地域の魅力向上を図り持続可能な中山間モデルを創造することが課題です。そのためには地域の人と関係する人が共に助け合う新たなコミュニティの場やあり方を創造することが期待されています。
- 能登半島地震の災害を受け、真庭市久世エリアの老朽化した公共施設集約・再編のほか、情報発信、防災機能も有する拠点整備による都市機能の向上が求められています。

真庭市の  
課題

### 久世校地 に関する 市民・ 事業者の方 の声

【市民の声】誰もが気軽に訪れることができる拠点、子育て支援や教育・研究としての整備を望む声が多く、地域の農業振興拠点として、年齢を超えて学び合える場とすることや実験スペースとしての活用の提案がありました。

【事業者の声】林業・木材・木造建築教育研究について11者、農業の活性化や地域の魅力に関して7者と事業者ヒアリングに応じていただき、林業・木材・木造建築や農業に関心が高いことがわかりました。多くの民間企業・団体(30者)にヒアリングを実施した結果、90%の事業者から本事業に関心があるとの回答を得ました。



## コンセプト

### 真庭の多彩な人材が交流し学び合うインクルーシブスクエア

#### 事業モデルの概要

コンセプト実現にあたっては、産学官の連携や地域資源の活用を図り、事業モデルを構築します。

#### 産学官の構想と真庭市の地域資源を活用した事業モデル構築



## 導入機能

事業モデルに示した6つのゾーンを基に、それぞれの導入機能区分及び概要を次のとおり検討しました。

No	導入機能名	概要
1	林業・木材・木造建築教育研究ゾーン	林業・木材・木造建築に関する教育研究の拠点
2	脱炭素・再生可能エネルギーの研究・開発・情報発信ゾーン	脱炭素・再生可能エネルギーに対応した施設で学び、集い憩える場
3	未来をつくる交流ゾーン	既存の校舎を活用した、子育て・教育・交流・研究・産業・DXの拠点
4	農業の活性化や地域の魅力に触れるゾーン	農業の担い手育成や農林産物の6次産業化など、農と食の学びと体験の場
5	こどもはぐくみゾーン	久世保育園・久世第二保育園の機能を集約し、再編した公立こども園
6	若者や移住者の住まいのゾーン	若年世帯や子育て世帯を対象に提供する手頃で優良・安心な住宅、地域コミュニティ

#### 林業・木材・木造建築教育研究ゾーン

- ① 木材の構造実験・研究に関する実験施設
- ② 木材の耐火試験・研究に関する実験施設
- ③ 来訪者の滞在場所(休憩・宿泊棟、食堂等)
- ④ サテライトキャンパス

#### 農業の活性化や地域の魅力に触れるゾーン

- ① 最先端農業の研究・開発・情報発信施設
- ② 有機資材やICTを活かした土づくり施設
- ③ 農業後継者のための研修施設
- ④ 農業支援センター
- ⑤ 食品加工支援センター
- ⑥ 農家や敷地内農場、施設で製造した加工品の直売場

#### 脱炭素・再生可能エネルギーの研究・開発・情報発信ゾーン

- ① 脱炭素・再生可能エネルギー関連企業による研究・開発・情報発信施設
- ② 太陽光発電設備、蓄電池等を備え、災害時にも活用できる施設
- ③ EV(電気自動車)充電設備
- ④ 公園、芝生広場

#### こどもはぐくみゾーン

- ① 園舎
- ② 園庭とともに利用できる市民の憩いの広場
- ③ 久世地区こども園給食共同調理場
- ④ 職員、保護者駐車場

#### 未来をつくる交流ゾーン

- ① 交流フィールド：里山カブ
- ② 研究フィールド：研究、交流・展示スペース
- ③ 産業フィールド：起業支援スペース、シェアオフィス
- ④ DXフィールド：人材育成、ワークシェア、E-sports
- ⑤ 教育フィールド：サテライトキャンパス、共用学習スペース
- ⑥ 教育フィールド：体育館(仮移転)、公民館(仮移転)

#### 若者や移住者の住まいのゾーン

- ① 共同賃貸住宅
- ② 戸建住宅
- ③ 集会所
- ④ 児童公園
- ⑤ 家庭菜園等、交流を促す施設

## 先導的官民連携推進事業に採択

本事業は国土交通省の令和6年度先導的官民連携支援事業に採択（令和6年4月3日）され、**公民連携での事業推進のための調査を令和6年度に実施。**

### ■令和6年度の調査内容

#### ・前提条件整理

関係法令・上位関連計画の整理、先行事例の整理等

#### ・施設計画の検討

計画条件、導入機能、管理運営方針、モデルプランの作成

#### ・事業実施に向けた課題と公募スケジュールの検討

## 事業スケジュール

事業化に向けて、令和6年度は公民連携事業の導入可能性調査等を実施し、次年度以降の事業具体化に向けた検討を進めました。

## 事業スキーム

公民連携手法の採用を念頭に、各エリアの導入機能案やゾーニングに基づき、それぞれ最適な事業スキームについて検討します。



## 事業推進体制

これまで、「真庭市岡山県立真庭高校久世校地利活用検討会議」を令和5年7月より設置し、産学官連携で、久世校地の利活用の方向性について検討を行ってまいりました。

### 真庭市岡山県立真庭高校久世校地利活用検討会議 構成団体

真庭市（関係各課）、岡山大学、中国銀行、河崎技術士事務所、NTT西日本岡山支店、地域創生Coデザイン研究所、丹後王国ブルワー、岡山県美作県民局地域づくり推進課、岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室

今後の事業推進にあたっては、計画段階と、開発・管理運営段階に分けて適切な体制構築を行います。

計画段階は、設置済みの検討会議を発展させた産学官連携組織（協議会等）を組成し、計画検討を進めることを想定します。

開発・管理運営段階は、産学官連携組織（協議会等）などを法人化し、民間事業者に委託する業務範囲等の検討・発注等を行う事業マネジメントを行うことで、事業の持続性に配慮した検討を行います。

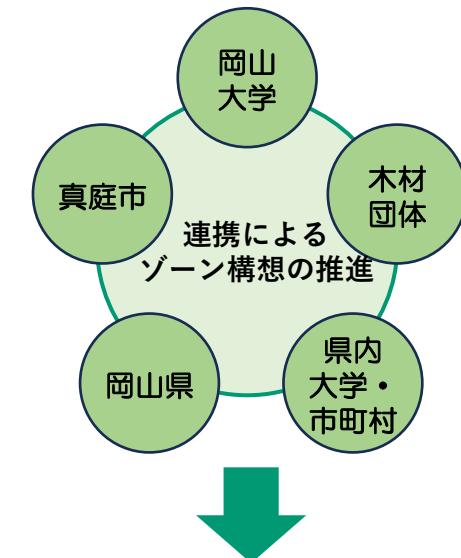
## 「林業・木材・木造建築教育研究ゾーン構想」推進体制

### ■これまでの検討経緯

令和2年7月に「林業・木材・木造建築教育研究ゾーン構想検討委員会」を設立、令和4年4月に岡山大学がグリーンイノベーションセンターを開設、令和4年9月に岡山大学と真庭市が「包括連携協定」を締結し、上述の「真庭高校久世校地利活用検討会議」を令和5年度に設立し「真庭市」をフィールドに「林業・木材木造建築教育研究ゾーン構想」が検討されてきました。

### ■「林業・木材木造建築教育研究ゾーン構想」の推進体制

これまでの検討経緯を踏まえ、真庭高校久世校地跡地をフィールドに岡山大学、真庭市が中心となり、岡山県、県内の大学、県内の市町村、木材団体等の産学官が連携し、高層木造建築の人材育成や新木質材料の研究開発などを担う木造関係の教育研究拠点の構築を目指していきます。



「林業・木材・木造建築教育研究ゾーン構想」の実現

# 寄付企業の掲載

CENTRAL  
GARDEN 真庭

MANIWA 市

## 真庭市ホームページ

Maniwa City 真庭市

本文へ はじめての方へ サイトマップ Foreign languages 文字サイズ 標準 拡大 背景色 白 黒 青

Google 提供 検索 すべて ページ PDF 番号検索 >組織でさがす >地図でさがす >カレンダーでさがす

防災・安心安全 くらし・手続き 子育て・教育 健康・医療・福祉 しごと・産業 市政情報 真庭観光WEB

現在地 [トップ](#) > [組織でさがす](#) > [総合政策部](#) > [総合政策課](#) > 真庭市における企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）

### 真庭市における企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）

[印刷ページ表示](#) [大きい文字で印刷](#) 記事番号 : 0027344 更新日 : 2023年6月30日更新

#### 企業のチカラを地域のチカラに

地方公共団体が実施する地方創生への取り組みに対して、民間企業のみなさまからの寄附を活用させていただく制度です。

[【内閣府】企業版ふるさと納税リーフレット](#) <外部リンク>

[【真庭市×SDGs】真庭市SDGsモデル事業紹介リーフレット \[PDFファイル／1.45MB\]](#)

※企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)によりご寄附いただく場合、令和2年度(2020年度)から控除割合が寄付額の最大約9割まで引き上げられました。

#### 真庭市の取組

ページ下部に企業名・寄付額を表記

#### ご寄附いただいた企業の紹介

2024年度

株式会社テイツー 700万円 <https://www.tay2.co.jp/> <外部リンク>  
成羽ポートリー株式会社 500万円  
テス・エンジニアリング株式会社 300万円 <https://www.tess-eng.co.jp/> <外部リンク>  
山本鋼業株式会社 100万円 <https://www.yamamoto-steel.com> <外部リンク>  
岡山ダイハツ販売株式会社 100万円  
株式会社新興製作所 10万円 <https://www.sinko-fh.co.jp/> <外部リンク>  
タレントスクエア株式会社 10万円 <https://talentsquare.co.jp/career/corp/> <外部リンク>  
株式会社トンボ 100万円  
NONENTROPY JAPAN 株式会社 100万円 <https://nonentropy.jp/> <外部リンク>  
両備ホールディングス株式会社 672万2,487円 <https://www.ryobi-holdings.jp/> <外部リンク>  
株式会社大成コンサルタント <http://www.taisei-so.co.jp/> <外部リンク>  
日本生命保険相互会社